

2017年度 第1四半期 決算説明資料

保土谷化学工業株式会社

セグメント	事業	主要製品
機能性色素	有機EL材料	正孔輸送材料、電子輸送材料、発光材料
	イメージング材料	トナー用電荷制御剤、有機光導電体材料、インクジェットプリンター用染料
	色素材料	アルミ着色用染料、文具用染料、カラートリートメント用染料、食品添加物
機能性樹脂	樹脂材料	ウレタン原料、接着剤、剥離剤
	建築材料	土木・建築用の防水・止水材料、防水・止水工事
	特殊化学品	医薬・樹脂材料・電子材料用の各種中間体
基礎化学品	工業薬品	過酸化水素および誘導品、その他工業用基礎原料
アグロサイエンス	農薬	除草剤、殺虫剤、酸素供給剤
物流関連	物流関連	倉庫業、貨物運送取扱業

単位: 百万円
表示: 百万円未満切捨

連 結	2016年度	2017年度	前年同期比
売 上 高	7,578	9,720	+ 2,141
営 業 利 益	189	1,303	+ 1,114
経 常 利 益	6	1,341	+ 1,334
親会社株主に帰属する 当期純利益	69	772	+ 703

為替レート \$=108.54円 \$=111.42円 \$=ドル
 W=0.0934円 W=0.0984円 W=韓国ウォン

- ・売上高は、有機EL材料や、色素材料の需要増加を主因とした機能性色素セグメントの伸長等により、2,141百万円の増収
- ・営業利益は、売上高の増加等により、1,114百万円の増益
- ・経常利益は、営業利益が増加したほか、為替差損の減少等により、1,334百万円の増益
- ・親会社株主に帰属する当期純利益は、非支配株主に帰属する四半期純利益の増加(減益要因)等があったものの、経常利益の増加により、703百万円の増益

単位：百万円

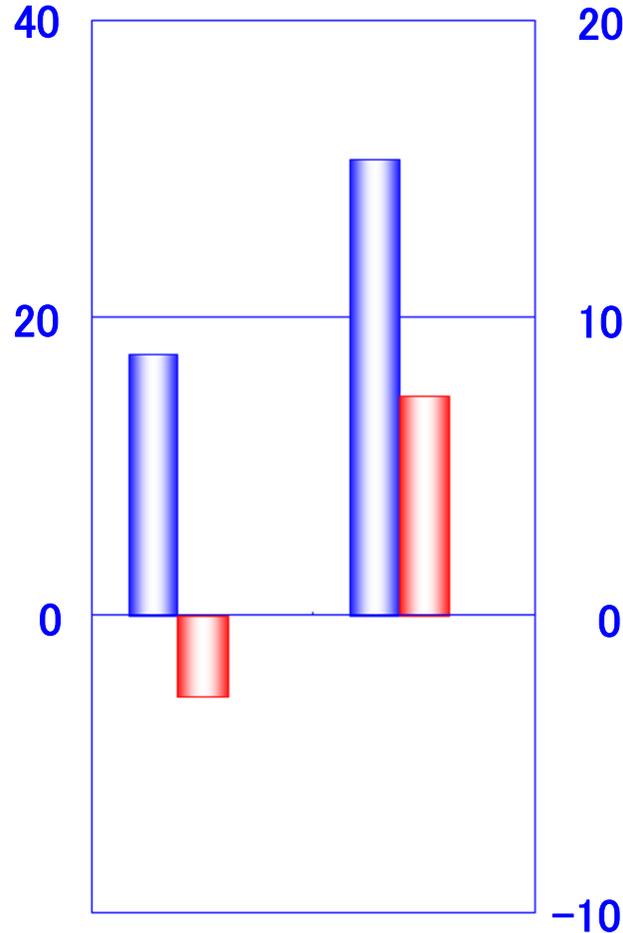
表示：百万円未満切捨

セグメント	2016年度	2017年度	前年同期比
機能性色素	1,756	3,061	+ 1,305
機能性樹脂	2,826	2,983	+ 156
基礎化学品	1,622	1,739	+ 117
アグロサイエンス	732	972	+ 239
物流関連	590	926	+ 336
その他	49	36	▲ 13
合計	7,578	9,720	+ 2,141

単位：百万円
表示：百万円未満切捨

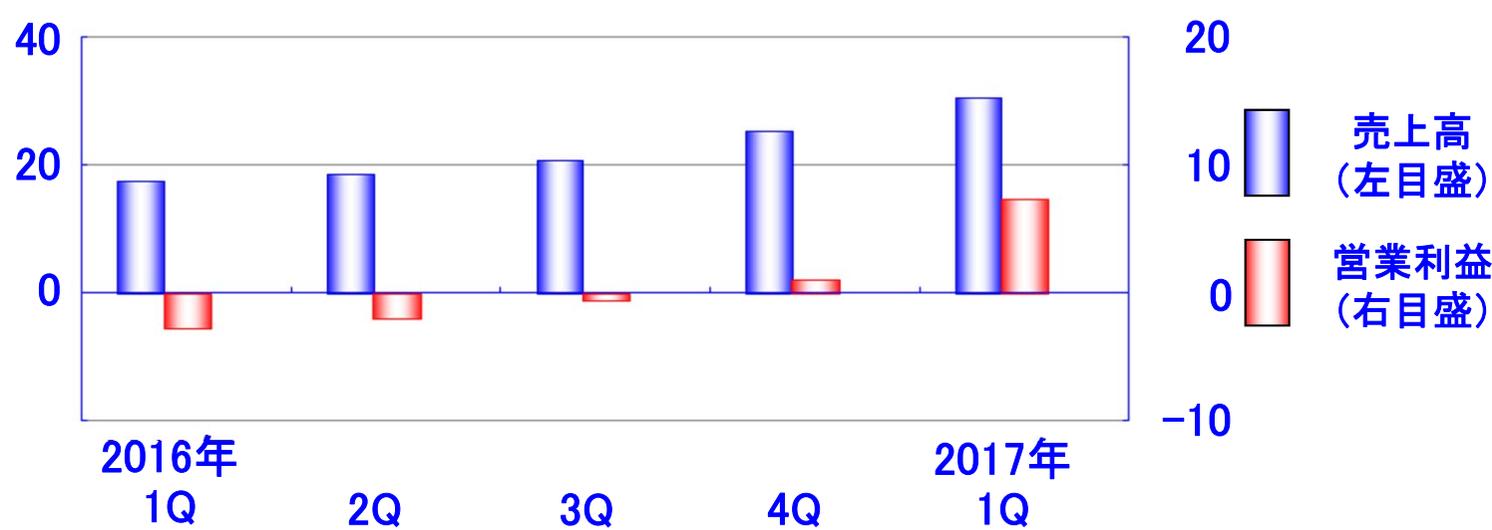
セグメント	2016年度	2017年度	前年同期比
機能性色素	▲ 275	738	+ 1,014
機能性樹脂	142	47	▲ 94
基礎化学品	176	266	+ 90
アグロサイエンス	0	60	+ 59
物流関連	160	204	+ 44
その他	▲ 15	▲ 14	+ 0
合計	189	1,303	+ 1,114

売上高 (億円) 営業利益 (億円)



2016年度 2017年度

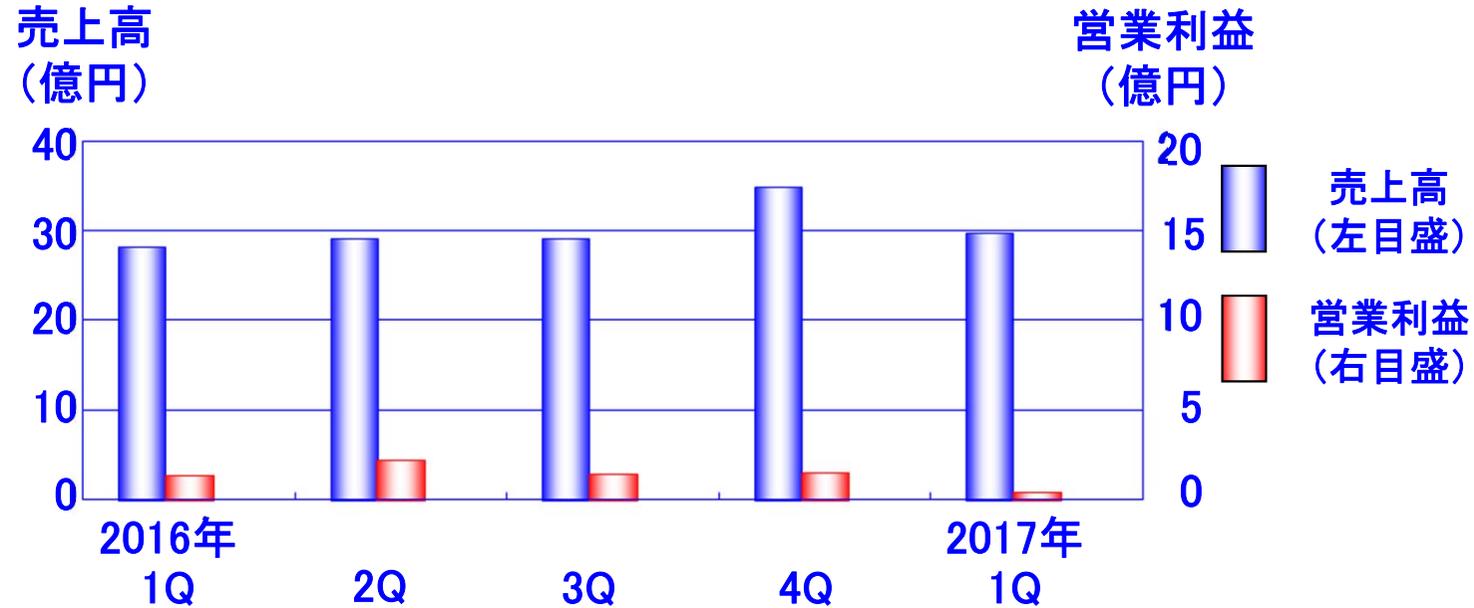
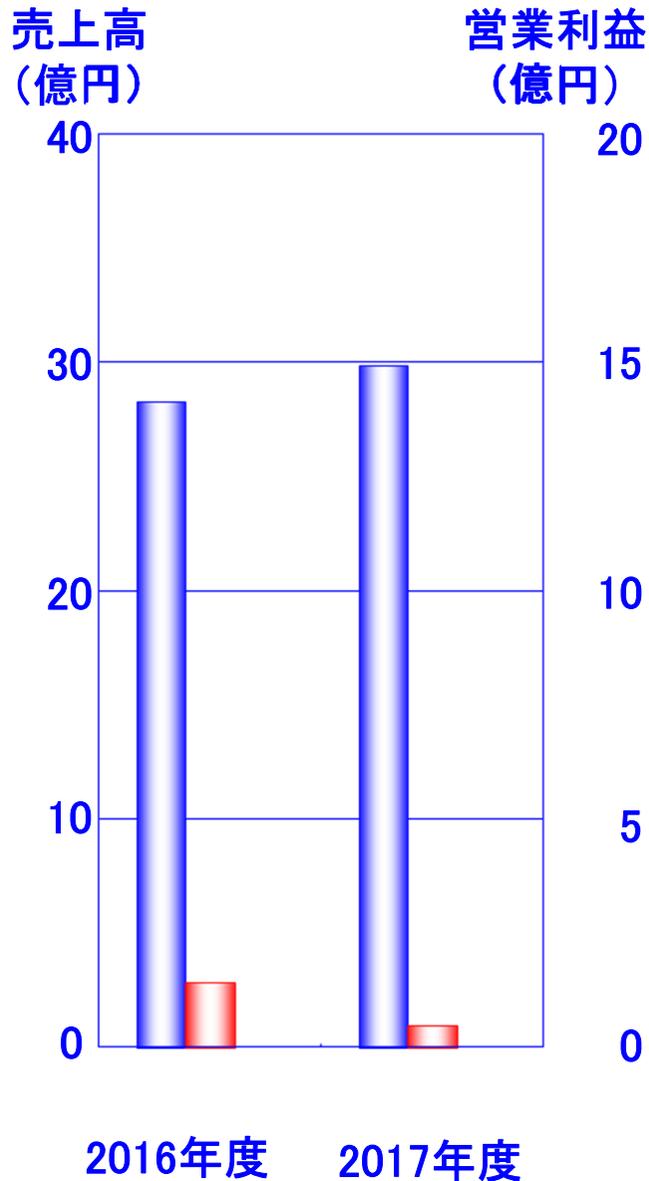
売上高 (億円) 営業利益 (億円)



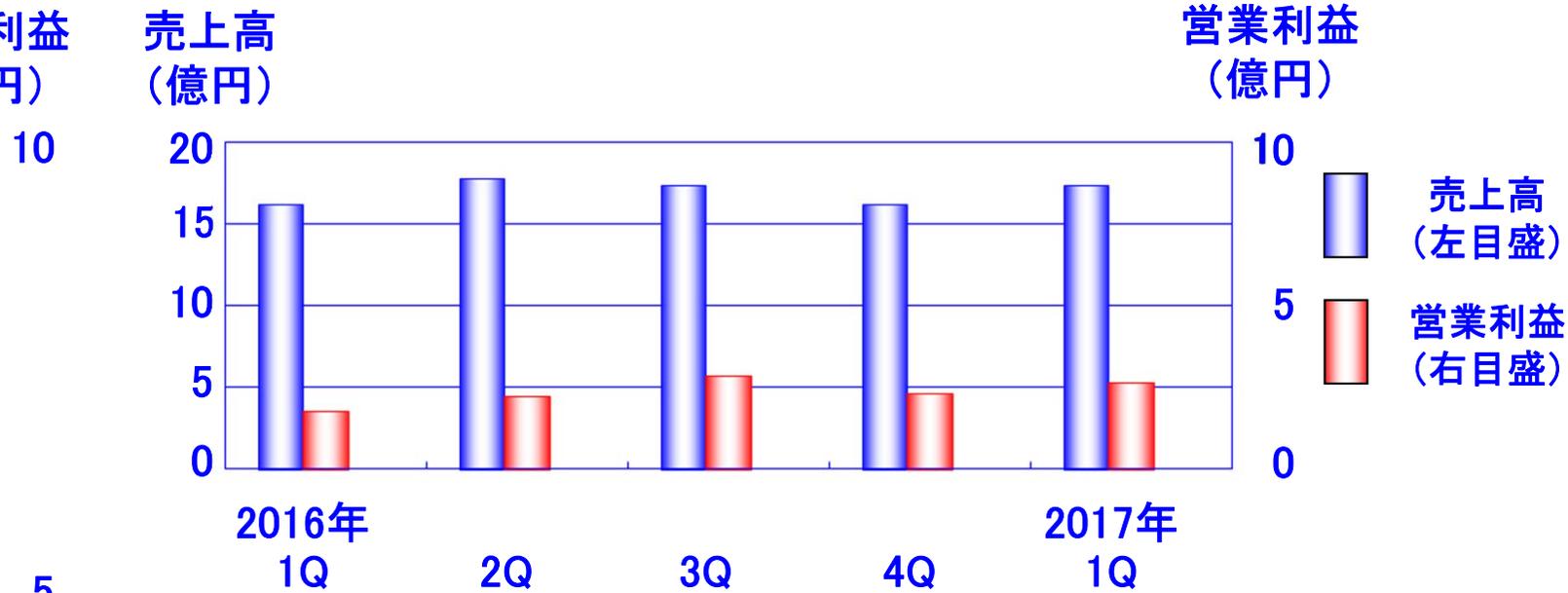
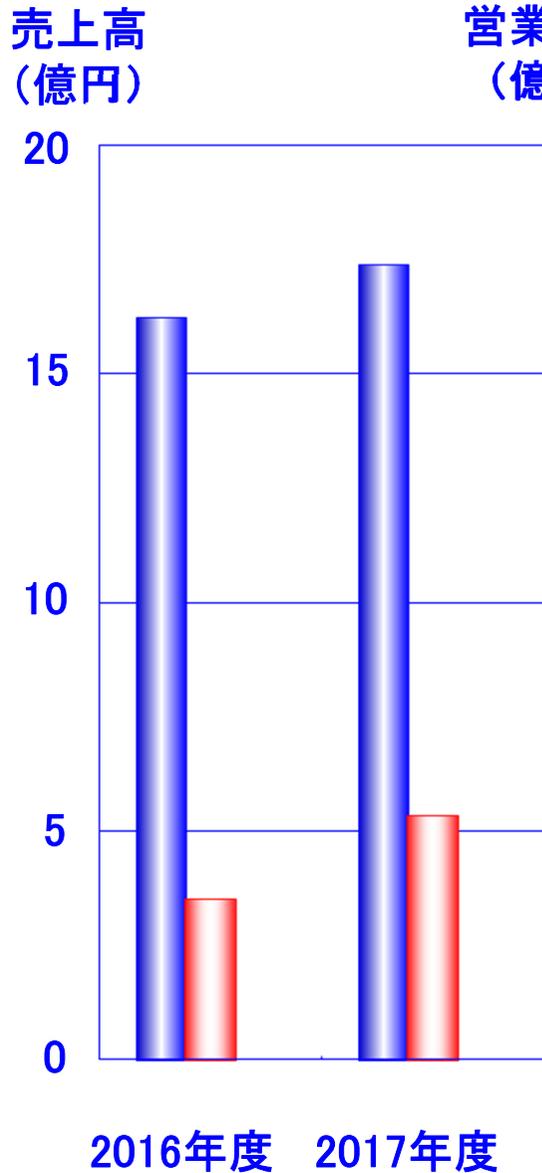
イメージング材料 ・プリンター向けで厳しい状況が継続しており、減収

有機EL材料 ・ディスプレイ分野での需要の拡大により、増収

色素材料 ・デジタル家電向けアルミ着色用染料が、引き続き好調に推移し、増収



樹脂材料	<ul style="list-style-type: none"> ・ウレタン原料での需要が国内外で堅調に推移したことや、タイヤ用途向けで前年同期並みに推移したことにより、増収 	↗
建築材料	<ul style="list-style-type: none"> ・材料販売が減少したが、大型工事案件の獲得により、前年同期並み 	→
特殊化学品	<ul style="list-style-type: none"> ・樹脂関連・医薬品向けともに、前年同期並み 	→

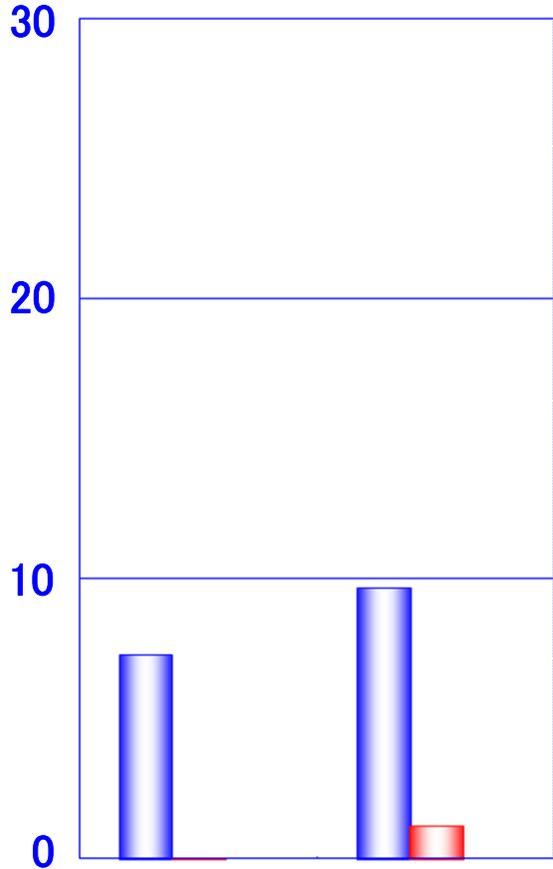


<p>過酸化水素</p>	<p>・紙パルプ向けに加え、 工業薬品向け等での需要が増加し、増収</p>	
<p>誘導品(※)</p>	<p>・家庭用洗剤向けが減少し、減収</p>	

※過炭酸ナトリウム、過酢酸

売上高
(億円)

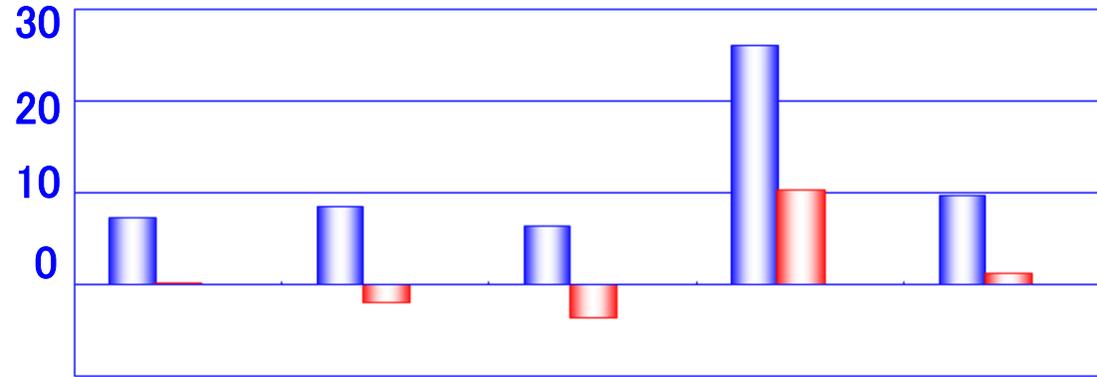
営業利益
(億円)



2016年度 2017年度

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



2016年 1Q 2Q 3Q 4Q 2017年 1Q

売上高 (左目盛)
営業利益 (右目盛)

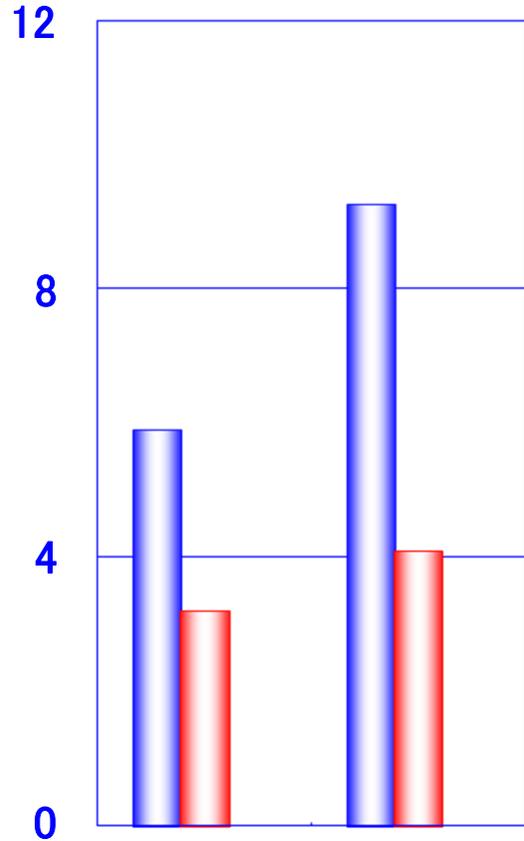
アグロサイエンス

・除草剤は、家庭園芸および鉄道向けで
需要が増加したことに加え、
農耕地向けも需要が増加し、増収



売上高
(億円)

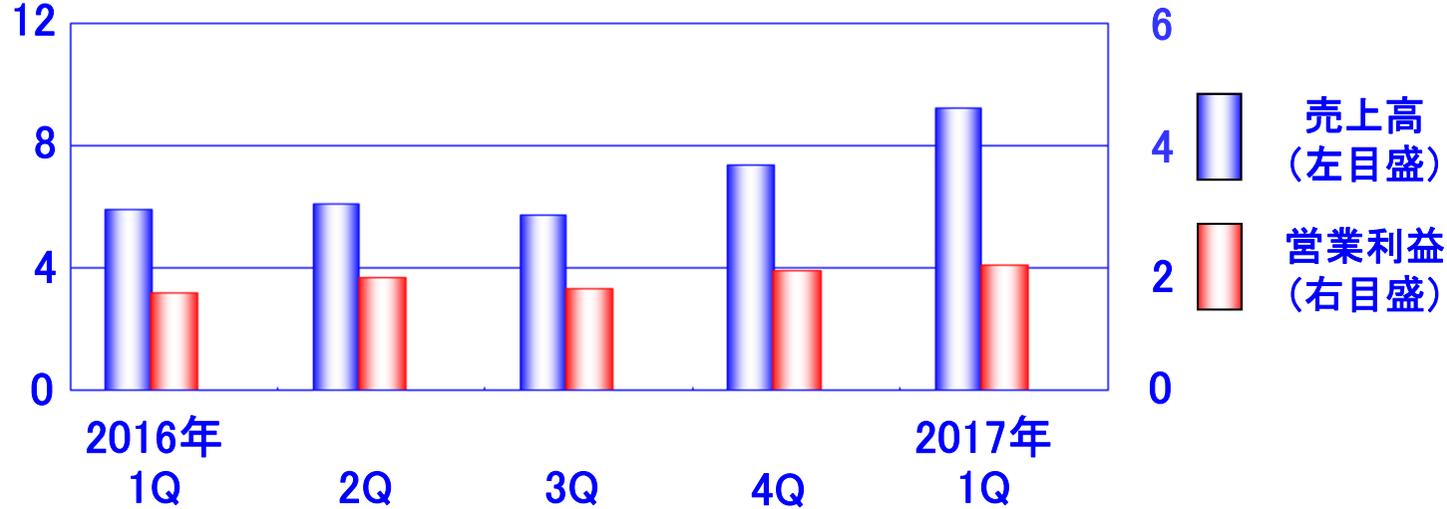
営業利益
(億円)



2016年度 2017年度

売上高
(億円)

営業利益
(億円)



物流関連

・倉庫業が堅調に推移したことに加え、
輸出の取り扱いが好調に推移したことなどにより、
増収

